

12月 定例会

今回は、刈谷市事務分掌条例等の一部改正についてなどです。質疑については、本会議で報告された各委員会の委員長報告を中心に、要約して掲載します。

条例議案

刈谷市事務分掌条例等の一部改正について

平成28年4月から市役所における組織の改正を行います。〔問〕大規模改正の目的は。〔答〕日本一安心安全なまち、そして市民にとってわかりやすい組織づくりを目指すものである。

〔問〕危機管理局を生活安全部に改め、危機管理課と市民安全課を統合する理由は。〔答〕市民生活の安心安全に直結する「防災部門」、「防犯・交通安全部門」、「市民相談部門」を一つの部に集約すること、日本一安心安全なまちを実現させる組織体制としたものである。

〔問〕企業立地推進室とは。〔答〕工業用地を確保する業務に特化し、企業ニーズにスピード感を持って対応してい

〔問〕上下水道部を水資源部に改め、水資源部に雨水対策課を移管する理由は。〔答〕水を資源として捉え、水害対策などの「治水」、水道農業用水、ため池などの「利水」、河川環境の整備と保全水とふれあう空間整備などの「環境」を担う部署として、水資源部を創設する。また、雨水排水関連業務の集約のため雨水対策課を移管する。〔問〕区画整理課は市街地整備課に変更されるが、担う業務は。〔答〕土地区画整理事業に加え、銀座A地区整備事業などのまちなか居住を推進する市街地開発事業全般を担う。〔問〕生涯学習部が廃止されて、教育部に統合されるが、生涯学習の推進をどう考えているのか。〔答〕生涯学習の推進体制に変わ

4月1日から市役所の組織が変わります

Table showing organizational changes for April 1st. Columns include departments like 総務部, 市民活動部, 経済環境部, 建設部, 都市整備部, 上下水道部, 教育部, 生涯学習部. Rows list specific units and their new assignments.

Table showing organizational changes for April 1st (continued). Columns include departments like 生活安全部, 市民活動部, 産業環境部, 建設部, 都市政策部, 水資源部, 教育部. Rows list specific units and their new assignments.

※福祉健康部、長寿保険部、次世代育成部は変更ありません。

補正予算議案

全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、関係する分科会で審査されました。12月17日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果について各委員長より報告を受け、18日の本会議にお

いて原案のとおり可決しました。補正する額(一般会計) 5億8,196万5千円。補正後の予算総額(一般会計) 567億3,938万6千円。補正後の予算総額(全会計) 899億6,134万8千円。日本一の伝統技術「からくり」を活かした製造現場の改善作品を展示する「愛知からくりくふう展in刈谷」を開催します。開催日 3月12日(土) 会場 産業振興センター 入場料 無料 対象者 主に小中高生 136万5千円 ※市民の方等から貴重なご寄附をいただきました。有効に活用させていただきます。心身障害者福祉事業費寄附金 53万7千円 児童福祉事業費寄附金 101万4千円 児童育成事業費寄附金 26万8千円 公園事業費寄附金 57万9千円

請願・陳情の結果

今回市民の皆さんから提出された請願4件は、関係する委員会で審査された結果、請願1件は採択、その他のものは不採択となりました。採択された請願に伴う意見書 不採択 不採択 不採択

石川 克彦 氏 (4期目) 平野 周一 氏 (1期目) 人権擁護委員の候補者の推薦について 固定資産評価審査委員の選任について 平成27年12月20日で任期満了となるので、再任することに同意しました。(任期は3年)

副市長の選任について (同意第7号、第8号) 平成28年1月24日で任期満了となるので、再任することに同意しました。任期は4年です。 稲垣 武 氏 川口 孝嗣 氏

平成28年度税制改正における自動車関係諸税の見直しを求める意見書 私たちの生活必需品である自動車には、複雑かつ過重な税負担、課税根拠喪失したの存在や、二重課税といった課題が依然として残されています。加えて、車体課税においては、社会保険と税の一体改革に伴う税制抜本改革法第7条に記された「簡素化、負担の軽減及びグリーン化の観点から見直しを行う」に沿って国民生活に対する確実な負担軽減を行うことが急務となっている。しかし、この数年の税制改正では、「簡素化、負担の軽減」に逆行する改正が繰り返されてきた。平成27年4月より軽自動車税が引き上げられ、平成28年4月には、軽自動車税の軽年車への重課、二輪車の増税が予定されている。更に、消費税率が10%に引き上げられる平成28年4月には、自動車税及び軽自動車税に、自動車取得税廃止の代替に他ならない環境性能割の導入が予定されているなど、今後もユーザー負担増大に繋がる方向性が示されている。日本経済は、長らく続いたアフレから真に脱却できるか否かの転換期を迎えおり、経済好循環の実現には、地方経済の活性化が必要不可欠である。とりわけ地方において日常生活の足である自動車の税制を簡素化し、負担を軽減することは、消費税に対する生活減税の役割を果たし、地方経済再生の切り札ともなり得るものである。また、平成27年度は、国内新車販売台数が500万台を割り込む厳しい見通しが示されおり、産業の空洞化を防ぎ、雇用の確保を守ること、すなわち日本のモダンを守ることが自動車産業を中心とした製造業の集積地であるこの地域の活性化に繋がることとなる。したがって、国及び政府に対し、自動車関係諸税の簡素化、負担の軽減を「最重要案件」として、以下の内容について要望をする。

12月定例会提出議案の賛否について 賛否が分かれたものについて掲載します。(○：賛成 ×:反対)

議決結果一覧表 (※)：賛否が分かれたもの 〔企画総務委員会関係・4議案〕 刈谷市事務分掌条例等の一部改正について (※) 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について 刈谷市税条例の一部改正について 刈谷市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について 〔福祉経済委員会関係・3議案〕 刈谷市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について (※) 刈谷市心身障害者扶助料支給条例の一部改正について 刈谷市心身障害者支援センター条例の一部改正について 〔平成28年度補正予算関係・7議案〕 一般会計補正予算(第4号) (※) 刈谷小垣江駅東部土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) 刈谷野田北部土地地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) 下水道事業特別会計補正予算(第2号) 国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 介護保険特別会計補正予算(第2号) 介護保険特別会計補正予算(第1号) 水道事業会計補正予算(第1号) 〔請願 4件〕 平成28年度税制改正における自動車関係諸税の見直しを求める請願 (※) 子どもたちが豊かに育つよう制度の拡充を求める請願 (※) 保育園申請書配布から、切実までの期間を近隣自治体並みの4週間程度に延長し、申込者に優しい制度設計にしよう求める請願 (※) 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願 (※) 〔議員提出議案 1件〕 平成28年度税制改正における自動車関係諸税の見直しを求める意見書 (※)